



令和8年度 大賀茂小学校グランドデザイン

【教育行政の基本方針】
 <静岡県>
 未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現

<下田市>
 教育の理念：
 「『好き』を伸ばし 未来を創る」

学校教育の目標：
 「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」

- ・心とからだ 生き生き元気
- ・自ら学び みんなで深める
- ・子供も大人も 体験・探求
- ・新たな発見 異文化交流

学校教育目標
自律し、自立できる子
重点目標
チャレンジしよう！

【児童の実態】

- ・優しく素直、穏やかで接し方が温かい児童が多い。
- ・仕事や学習に前向きに取組み、役割を忠実に果たそうと努力する。
- ・異学年間の交流が活発で、協力し仲良く活動する。
- ・失敗を恐れて一步踏み出せずにいることがある。

【保護者・地域の実態】

- ・保護者や地域が教育活動に対して理解があり、協力的である。
- ・地域の中の学校という意識があり学校に対する温かさがある。
- ・学校と地域との結びつきが強く、稲作活動など地域と密着した体験活動を行うことができる。

<合い言葉>
お オリジナル が がんばる力
お おおきな心 も もっと〇〇

話してみよう

やってみよう

主体的に学び関わり合い、表現する子

- ①一人一人を大切にされた授業
- ②校内研修の充実
- ③体験学習の充実（生活科・総合的な学習の時間）
- ④基礎的な学習を身に付ける時間の設定

自己表現

自ら考え行動し、異なる視点を大切にし、協働する子

- ①縦割り活動、異学年交流の充実
- ②地域（ひと・もの・こと）と連携することによる社会性の育成
- ③安全指導の充実と判断力の熟成

関わり合い

めあてに向かって、試行錯誤しながら挑戦する子

- ①挑戦する場（めあてをもつ、試行錯誤する、振り返る）の設定
- ②進んで運動し、共に高めあい、達成感や満足感を味わう雰囲気づくり
- ③健康や成長について理解し、考える機会の設定

失敗を恐れない

- **肯定的な子供観**に基づいた教育
- 子供一人一人が**所属感**を持ち、**多様性や互いの良さを認めあえる**学級・学校づくり
- **特別支援教育の視点**に立った支援、環境整備（SC、SSW、外部機関との連携）
- **5ステージによる小ステップの目標設定**

キーワードは、「チャレンジ」と「主体性」

Vステージ制（スモールステップで達成感を！）

出会い →運動会に向けて ○自分のことを話そう ・声の大きさ ・みんなの方を見て ○みんなでよいスタートを切ろう ・協力 ・運動会に向けて I期	自分から進んで →めあてに向かって ○反応しながら聴こう ・うなずき、返事をしながら聴く ・聴き方「あいうえお」 ○1ランクアップを 目指そう（個） ・目標に向けてチャレンジ ・生活（食・身の回り・整とん） II期	みんなで →力を合わせて ○自分の考えを伝えよう ・伝えたい考えをまとめる ・話し方「かきくけこ」 ○みんなで1ランクアップ！（集団） ・行事、体験活動、クラス活動 ・みんなで話し合いながら III期	最後まで →やりぬくガッツ ○考えを深めよう ・自分の考えと比べながら聴く ・自分の考えの再構成 ○最後までやりぬこう ・持久走、縄跳び IV期	次へつなぐ →感謝を伝える 来年に向けて ○学習を振り返ろう ・できるようになったこと ・次の学年に向けて ○見つめ直そう ・自分の振り返り（達成感） ・感謝の気持ちをもつ V期
---	---	---	--	---

評価・検証（よりよい教育活動に向けた振り返りと行動）

○学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）→学校評価会議→学校評議員会→情報発信

家庭との連携・協働

- 基本的な生活習慣 ○学校DXへの理解
- 学習カードを活用した学習習慣の定着
- 家庭読書の充実・強化
- PTA活動等での縦と横のつながりの強化
- 教職員の働き方への理解

こ・小・中連携

- 架け橋期プログラム
- 朝日小交流
- 宿泊交流
- 学びのつながり
- UD避難訓練

地域との連携・協働

- 地域人材（GT どんぐりの詩）の活用（学校運営協議会）
- 大賀茂区と連携した安全、防災教育（地域防災訓練への参加・吉佐美駐在所との連携）
- 外部諸機関（行政・福祉・児相）との連携
- 朝日地区育成会との連携